

有宵会だより

第40号
 発行所
 特定非営利活動法人
 岳易館・有宵会
 編集 広報部
 松戸市新松戸1-64

九星と易断による

八月・九月の運勢

気学では申八月

八月七日(立秋)節入り

4	9	2
3	5	7
8	1	6

生 気
 天 道

破

気学では酉九月

九月八日(白露)節入り

3	8	1
2	4	6
7	9	5

破
 天 道



一 白水星の人の運勢

八月筮一 天山遼の六一

九月筮一 風水渙の初六

八月は諸事情慎重に待つのが利口。周囲とメモ事

任せしてみる。家事優先し家族団欒の喜び。多額の

出費があり対処厳しく風邪と頭痛、水巾り、不

眠、腎疲れ、足腰に注意。九月は前月の心配事が

解消、親子、嫁姑の関係に心を配る。本職に励み

他業に手を出さないで。金銭は手固くムダを除く。

胃腸の疲労、排便、のど胸部と背張り、足腰弛む。

二 黒土星の人の運勢

八月筮一 天風姤の九二

九月筮一 山水蒙の六三

八月は平穩で無事に過ぎず。交際面で古い問題

と噂が出るが冷静に処理仕事上の不注意と人事の

対立させる。家庭の消耗品、修理、交際の支出型

寝冷え、胃腸の疲れ、皮膚、便秘気味と持病再発。

三 碧木星の人の運勢

八月筮一 火地晋の上九

九月筮一 水雷屯の初九

八月は活気あり前向きです。中旬に仕事や用事

にミスあり。道路で車や自転車走行と足元に用心

親子・夫婦の愛情は深い喜びあり。支出が続く

疲労感や交感神経、胃と食道炎、歯と視力の低下。

九月は是々非々で決め従来の継続が良いが新規

方針はさける。人の出入りが多く楽しみが二件、

ただしダブル予定の確認です。風邪、足腰、アレ

ルギー、鼻炎などに対処。

四 緑木星の人の運勢

八月筮一 火風鼎の上九

九月筮一 風天小畜の九三

八月は順調運、交遊は

数人と買物と会食が楽しみ、仕事は後半有利に展開し実績を上げる。家事

と我が儘に気を付け、蓄財を心掛けるが金目の品を購入あり。口腔と気管

支、頭部と背骨など予防。九月は全体に急がずに待機。実力を蓄え次の準備をするのが賢明。小

五 黄土星の人の運勢

八月筮一 沢地萃の九五

九月筮一 沢雷随の上六

八月は中宮に入り何かと雑用が多い。暑さに負

けず頑張るには食事と睡眠。公私に骨折りに多く気が

揉むが下旬頃に見通しが付く。支援者の協力を

得たり金運まずまず運。足腰、歯、心肺の疲れ。

九月は活気が出て気力が充実、諸計画の実施、

対人面は状況により臨機応変に処理とまた去る者

は追わずの方針。金銭は出超気味、体調は頭脳疲

労、循環器、耳鼻の検診。

六 白金星の人の運勢

八月筮一 風火家人の九五

九月筮一 天風姤の初六

七 赤金星の人の運勢

八月筮一 山沢損の初九

九月筮一 火山旅の六一

八月は一息つくので安心です。運氣のリズムに

任せてみる。仕事の一部が延びるので持久戦でい

く。家族は角を突かないで折り合う。周囲の人に

奉仕して吉。風邪と気管虫歯、座骨など足腰鍛錬。

九月は多事多用、飛び入りの用事で手古摺るで

しょう。家庭内の整理整頓、将来の見通し、冠婚

葬祭の処理と財運など目配るが消費多し。疲労は

関節と筋肉、皮膚の部位。

八 白土星の人の運勢

八月筮一 地天泰の初九

九月筮一 巽為風の九二

八月は安定運を目指し周囲を調整する立場で、

家庭の奥深い問題があり親子や親戚のことが話題

妙案は出ないとき。先祖供養の墓参りで落ち着く

月末の支払いに注意。腰膝、アレルギー性に用心。

九月の運氣は順調に進み安心、人気があり注目

されるが嫌な人にも親切に。仕事で能力を表わす

家族旅行や趣味の楽しさを期待。視力低下、歯の

手当、動悸や血圧の対策。

九 紫火星の人の運勢

八月筮一 沢雷随の六一

九月筮一 水火既済の六二

八月は交際面で気忙しい。交渉事は先方が鍵を

握るので合わせる。仕事や用事は予定した範囲で

あるのでスムーズ、家庭は食事の気配りと金運は

平凡。胃腸、心臓、血圧視力、歯など暑気が響く。

九月は自重運です。背伸びをしないで謙虚に。

目下や子孫のために配慮仕事は後半に集中しやす

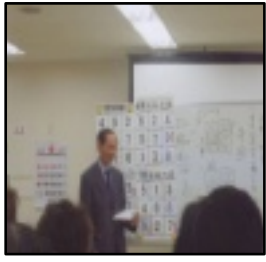
い。室の照明、電話を見直す。金運は貯金を。体

調風邪、足腰と過労注意。 福田 有宵

五月NPO法人
岳易館・有宵会報告

半田 晴詠

五月二十九日(土)綾瀬、足立区こども家庭支援センターにおいて、NPO法人岳易館・有宵会が開催されました。牧野有峰先生司会進行のもと、一部では、山本真義先生から数霊(神霊数)のご講義。福田有宵先生から「易と気学による月運占断」のご教授を頂きました。二部では、取手市のNPO法人らしん盤の武藤ほとり様、古庄宏様、高島睦子様より活動目的と内容のご講演を頂きました。又、福田先生には前回に続きまして、手相判断のご指導をして頂きましたが、時間が足りなく感じられ残念に思いました。盛り沢山の四時間でしたので、紙面の都合上ご講演内容も割愛させて頂いた部分がありますので、ご了承下さい。



神霊占断
天信堂神道運命学

山本真義先生

三月の有宵会でも、山本先生から数霊での占断法をご指導頂きました。二〇一〇年の数霊2+1で3。この3を中心におきますと5の対沖が1。十二支の寅の対沖が9。この1と9が破壊数となります。宮崎牛の口蹄疫について占断しますと、宮(10)崎(11)で21。2+1=3 口(3)蹄(16)疫(9)で28 2+8=10で1。 と がでてきます。 は主な事件が出たものは今迄世に出なかった。五月の盤では、数霊の月盤表(寅巳申亥)から3が中心で巳の対沖に4があります。牛(4)では、破壊数となります。では、沖繩の普天間問題に關しまして鳩山首相の五月決着はなりません。何故かと言いますと、沖(7)繩(15)で22 2+2=4 普(12)天(4)間(1)で28 2+8=10で1となり、やはり5の対沖の と巳の対沖が破壊数となりますので

決着はできなかつたので。では、鳩山首相と占断してみますと、鳩(13)山(3)で16 1+6=7 由(5)紀(9)夫(4)で18 1+8=9 との關係は、姓と先祖とみますので、7を中心にしみますと5の対沖が9となり名前が破壊されているのです。又、9は今年の破壊数でもあります。以上、最近の社会問題を数霊にて占断して頂きました。先生は長年にわたり、姓名判断と気学を取り入れ独自の研究をなさっておられます。今回迄のご講演は、初歩的なことと思えますが、少しずつでも理解でききますと数霊の深さに感動します。ご遠方の岐阜県より全員に二〇一〇〜二〇二二年の数霊盤と気学盤の資料をお持ち下さいました。数霊・気学・姓名数を合わせて判断するとよろしいとのことでした。有り難うございました。心より感謝申し上げます。

易と気学による

月運占断

福田有宵先生

今回ご講演をお願いしましたNPO法人らしん

盤の皆様と会場迄一緒させて頂きました**二黒土星**の方がおられまして、徒然なるままにお話をし、てまいりましたので、本日は二黒土星から申し上げたいと思います。年盤八中から二黒は良宮に廻座し、仕事上などでの変化があり、人によっては前年又は翌年に現れる場合もあります。震宮でも起こりますが震宮の変化は、職場が変わったりセクシヨンが変わったり前向きの新規の面がでてきます。良宮では、中味を改める改革や改善であり本業を変えずに、仕事の仕方が変わります。曲がり角に当たりどのよう曲がるか気になります。周囲も本人も忙しさが上積みされ、ア(暗剣殺)付きなので変則的に掻き回され疲れますので、疲れなないように手をうつところが大切です。ではどうするか。繋がりをとるところですので連結とみます。同じような仕事のやり方では意味がなく、創意工夫ですがア付きなので独走しミスが出やすいので、充分に自重し走らないように注意です。どんな問題がでてくるかは、

対沖の五黄で個性が強く、なかつた動かず一筋縄ではいかない。古い物に拘り変えることを嫌がるので、それを上手く纏めていくことが手段。ミスはどんな事かは、対沖の要素は中宮の八白を通していくので八白の意を捉えることです。五黄の他に南北(上下)三碧、四緑も開つてきます。そのようところから今年の良宮二黒は、序列を重んじるところでして、今年の評価されなくても来年評価されます。では個人の月運に入ります。

本命八白・月命七赤

六月 水風井 六四

井は井戸や水の意。飲食に關する事で毎日の生活に大事であります。本人が、水分を摂取し過ぎているか、足りないかなども判断できます。井戸は水を汲み上げる姿から内卦から外卦に従って水がきれいになり願望も叶えられると判断しますから、六四で六月中旬から後半に運氣良しとします。勉強、努力もポイントは繰り返しすることです。外卦坎と内卦巽で風邪、六四を変じて沢風大過となり、風邪の菌は口もと

から入ります。七月 地雷復 六四 復は復調、回復、復元などの意で、元に戻る。病人であれば段々に快くなる。希望は本業を守り現状維持し、外卦坤で古い物を使うことが良く、流行を追わず使い慣れた物を使うとか、人間関係では古い人を大事にし、又家庭の中では仲良くすることです。内卦震は肝臓機能の疲れに注意です。

本命九紫・月命一白

本命九紫は年盤乾宮に同会。乾宮六白の道は真っ直ぐな道でオーソドックスに行く。心、精神、魂からの方向の答えを出すと納得します。六月は兌宮でア付き、相手から刺されるところですが、相手のせいにしてはいけません。相手のせいにするのは修行が足りないのでは？ 六月 雷火豊 九四 豊は盛んな時を意味し季節では夏から秋。豊は運氣頂上に達している時なので、方法を変えない方がよろしいが中旬に動きがでてきます。一つには内部から外へ金銭や書類など、六四で外卦震、人物なら男性で青年から壮年。仕事関係者などであ

るかこれは相談者の内容でそれぞれの判断をすることです。豊はピークに達しているので油断しないこと。健康の面では眼、伏しているのが地火明夷です。ので夜に疲れやすい。又豊は美食したくなりお金がかかるようになりま

七月は、良宮年盤二黒に同会し破付きですので六月同様注意が必要です。水沢節 九四

節は節々。節をもつ植物は竹で強靱な張り具合をもっています。この強靱さは良い面と悪い面があり、良い面では几帳面であり、人と人との繋がりで

では挨拶をきちんとしてます。形からみますと身体では背骨、腰など節々を痛めやすい、年齢や状況

によって答えに変わります。上六でしたら首や肩です。外卦坎は耳を表し

聴覚。上爻ですと耳垢がついて聴こえなくなっている状態とみて、変じて

本命六白・月命五黄

気学では、本命六白は今年震宮に廻座し伸び伸びとし何かをやるうとして意気揚々としている状態ですが、六白の人は納

得しないと動かないので、納得しているかどうかを聞きながら答を出すという答がでるのですが、皆さんの前でするので個人的な事はここまでとします。又、本命月命との関係で六白の方でもそれぞれに動きが違ってきますから、

月命盤から傾斜法を重んじる必要があるでしょう。本命六白のやる気を月命五黄がどう補佐するかということになります。

途中ではありませんでしたが、時間の都合でここで中断になりました。福田先生は前回同様会員全員の月運を事前に立筮して下さいとあります。有り難うございました。

第二部 NPO法人

らしん盤様のご講演

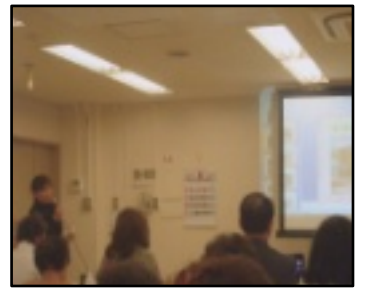
理事長武藤はとり様

私共は、取手市で活動しております。主に精神障がい者の就労支援や、

ご自宅におられる方を少しでも私共の所へ来て頂いて、話をしたりお茶を飲んで頂いたり、集まり

の場を作っております。この後にお時間を頂きまして活動目的と内容を説明させて頂きます。

理事 古庄宏様



スライドにて活動内容を説明させて頂きます。一般市民の方、これからボランティアをやるうと

されている方を中心に広報活動をしてあります。NPO法人らしん盤は、

二〇〇三年十一月二十九日設立、二〇〇四年五月十一日登録し七年目に入りました。大きな活動目的は二つ。一つには精神的障がい者の社会参加と自立、経済活動を支援する。

二つには地域と協同して生活の場、働く場、余暇活動などの基盤作りの活動を行うことです。内容は、ふくろうの郷の運営、

サポートグループの開催、メール便配達への支援、農園事業、広報活動です。

「ふくろうの郷」は取手市役所敷地内にあり、登録人数三十五名、平均の毎月利用者数百二十名、職員数十一名です。就

労継続事業として取手市が建物を建ててくれています。利用者さんが働いてくれる場所で、その内容は清掃作業、小さな家での売店販売、菓子製造、軽作業、バザールふくろうなど福祉交流センターです。らしん盤が、ふくろうの郷以外で本来やるうとしていた活動としては、「サポートグループ」

集まりの場、自助グループとしてピユアカウセリングを目的として悩みの分かち合いを毎週土曜日

にらしん盤の家で集まりをしています。「メール便配達」は、クロネコヤマトさんから受け、自転

車を使って市役所の近くを月・水曜日の午前中にボランティアの人達の援助を頂きながら、共に働

くということをやっております。「農園事業」は、癒しと安らぎの場として

場所を提供し、作物を作り秋の収穫祭などでは精神障がい者の人と一般の

人との交流の場になっています。「広報活動」は、主に広報誌「らしん盤

からの手紙」を年二回千部発行し、内容はニュースや活動内容のお知らせと

会員・賛助会員のお誘いなどです。又「らしん盤の家」は、地域との架け橋の集いの場として、昨年十二月に家を借り、憩いの場、サポートグループ、メール便の打ち合わせや話し合いをしている所で、精神障がい者だけでなく他の障がい者の方にも利用を広めたいと思っています。「研修セミナー」

は、NPOと福祉の勉強や病氣治療など病院の先生をお呼びして、研修会や他の施設を見学して学んでいます。「相談活動」

は、障がい者や生きづらさのある方、統合失調症など取手市だけでも千四百人位おり、その中の千人位がひきこもりで家から出ないでありますので、

最初のステップを踏み出せるように力を入れたいと思っております。又、当事者と家庭の悩みが相談

できる場所として、力を入れていきたいと思っております。活動内容を充実させる為に、障がい者の理解からスタートしよう

と全員が無償のボランティアで、個性豊かな人の集まりでそれぞれ違った能力を生かしていますが、

問題は高齢化してきておりますので是非若い人に入ってほしいと思ってお

ります。更なる飛躍に向かつては、障がいを理解して頂きその後支援して頂く事で、障がい者が市民生活の場に一步踏み出すことができるように生活訓練、就労訓練、そして一般就労ができるように順番を追ってお手伝いができればと思っております。今のらしん盤の活動を更に広げる為に、又障がい者が安心して暮せる社会を作っていけるよ

質疑応答

質問一 NPOの活動費について

賛助会費を集めております。口コミで活動に賛同して下さいる方に理事を通して一口千円。二十一年度は、賛助会員百十七

名の方より、金額はそれぞれ違いましたが、合計十四万円集まりました。他に活動費として助成金

があり共同募金、中央労金や医療機構さんからは農園業にピニールハウス

など助成して頂いたり、地元の手紙ですが助成して頂いております。取手社

協さんには、清掃作業や売店などの場を提供して

頂いていきますので、NPOとして大きく活動できています。ボランティア作業中の事故などについては、全国社会福祉協会にボランティア保険がありますので、加入された方が良いと思います。

質問二 会員制度はありますか

任意のものなので、入会手続きや誓約書は取り交わしておりません。賛助会員の会費で成り立っておりますので、その方たちのお名前はインプットされておりません。

質問三 統合失調症などでひきこもりの相談を鑑定で親から受ける時があります、最初

のステップ他、対処法はどのようにしたら良いでしょうか

子供が病になった時に母親が一番に育て方が悪かったとか、遺伝ではないかと悩みますが、育て方でもなく全面的に遺伝でもないようで、例えば双子で生まれても二人共に発症することはなく四十パーセントはならないので、遺伝プラス環境ではないかと言われていると思います。批判しないでっか

り話を聞いてあげると親は安定します。そしてできるだけ早く医療に繋がること。病院では長期に薬療法をします。又支援してくれる機関、保健所や市の窓口、ボランティアなどを教えてあげることです。家族だけではできない力を頂けることになり

ます。家族は保護義務がありますので、協力者がいると本当に助かります。

質問四 日常生活で言葉かけが必要ですか

清掃事業などでは、とても丁寧な仕事をします。その時は「いつも有り難う」と言われると、その感謝の言葉に喜びます。但し顔見知りでない人になります。知っている人ならばつきりと声をかけてあげて下さい。

質問五 バスの席を譲つたら母親に叱られたのですが、良くないことでしょうか

精神障がい者は乗り物の中でウロウロすることはありませんが、他の障がいの場合には押さえ過ぎるとパニックになり怒りますので、断つたのかも知れません。又お母さん自身が周囲からの支援者が

なく受け入れに慣れてなかったということもありますね。

質問六 うつの友人との付き合い方はどうすれば良いでしょうか

躁うつ病、統合失調症、認知症は同じ病ではないかと言われている、何故ならメカニズムも同じで薬もほぼ同じなのです。うつ病に対しては「頑張つて」という言葉は禁句であり、他の障がい者にも言わない方が良いでしょう。うつの人に一番良いのは、本人が話をしたい時に「大変ね」と充分話を聞いてあげるだけで良いと思います。

福田先生からの質問

家族からの相談はどんな事が多いのですか

一番には、主治医を選ぶのに悩むこと。二つ目には薬に対して、同じ症状でもそれぞれに合わないことがあり、先生とか薬との相性又、普通の親子関係でなくなるので家族関係の悩み、特に男性(夫・父)との関わりでお父さんは病気を受け入れられず患者を理解できないことがあります。将来治るのかという不安、

精神障がいの場合は発症が思春期が多く、親が希望を持つ時期なので病を受け入れられず、親が死んだらどうするのかと後の心配をします。患者は素直で優しい子が多く、傷つきやすいので、夫婦ゲンカや他人の中傷などでも傷つくので安心できる場ですと伝えます。

不登校・ひきこもりの相談には?

専門家に早い時期に相談することが良く、統合失調症は現在百人に一人と言われています。オーストラリアでは、発症が下がってきていて中学あたりで兆候があるので早めに治療しています。私も学童の時から注意するように厚生省に署名活動をしていきます。児童相談所・保健所・精神保健福祉センターに相談すると良く、保険所では親の会などで親が変わることによって子供が安心感を取り戻すことができます。

うことはなく、良い感じがしないので私達は害の字を平仮名で書くことにしています。当事者の方達は、そう呼ばれることを嫌うので普通の人間として付き合い、大切な友達と接するようにして頂ければ充分で、何でもしてあげることではなく、距離をもつて話を聞いてあげることが大切なのです。「母親へ苦労かけた親不孝社会復帰を親子で誓う」お母さんとの面会を終えてから患者さんが詠んだ歌です。「ふせ思う昔の僕と今の僕何が変わった全て変わった」「生き方が五臓六腑はよけれども真面目すぎるか純粹すぎるか」「考える暗い帳に覆われた荒野をさ迷う俺の人生」最後の歌は、らしん盤の名称をつけて下さった方の歌です。「らしん盤北を示すか人生の前途は険し嵐の中へ」お聞き頂いて有り難うございました。

という意味でつけて下さいました。

奉仕の精神・福田有宵先生

奉仕の心とは、自分を捨てることができるかです。俗世間ではいろんな欲があり自分の希望があり求めて行きたいと思う。そういう物がある時には、このような活動ができない訳です。最近では二十代、三十代又学生さんがボランティアに入ってきて、少しオーバーですが日本の歴史が変わってきています。あの阪神大震災あたりから変わってきていて、NPOの活動を時代が求めているように思われます。このお仕事についておられるただ今の三人の方々のお顔の表情からどのようなことを感じましたか。私達は伺ったお話の中から学び鑑定において個人々にどうアドバイスできるかです。

らしん盤の名称は、ご自分も統合失調症の方で、障がい者のお世話をしている上、らしん盤があれば狂うことなく行く先に迷うことはないだろう

手相判断・福田有宵先生

前回(三月)の続きになります。泉富貴子さん(大正十三年十月生まれ)の手相プリントを判断します。

手相は脳小脳と直結



しており、言葉に出さないことを表してくれます。西洋の手相では手型七種類、丘十種類、千三十種類位のもがありそれぞれに研究がなされています。そして手相は予知能力があるので今もって存在しているわけです。線が変化するところを読みとることが大切で、三大線の関係をポイントとします。泉さんは八十五歳戦前の人は比較的生命線の下の方から運命線が出ています。家の為に努力したとか物の本には家の犠牲になるとか書かれており、それも一つですが私は親子関係が密着していて、親と子の縁が深いとみます。生命線の下に画相が表れ（顔が表れる。亡くなっている場合も生存している場合も）父と母どちらの縁が深いか

解ります。「画相は訓練によつて見えてきますので勉強して下さい。生命線の内側又外側に表れる画相があり、何故生命線の下に出るかが研究です。泉さんは手の中央部に線が複雑になっていて、この時代を乗り越えてきたという事。四角紋は問題を抱えたこと。その角紋が何を意味しているのか家族を守る為のものか金銭問題だったのかに触れていかなないと手相の醍醐味が解らないです。右手運命線を中心に外側に角紋三つ、家の為に尽くし動きがとれない状態だったのでは。生命線にピツタリの角紋は母性愛で朝から晩迄、子供や夫又親の問題に身体を張つたといわれます。右側に長四角紋があり拇指の方にからみ寄っているのは、本人が仕事をし稼ぎ、又運命線上の五角形のは頭脳線、生命線上の入りくんだところでもあり三十年近く翻弄されたのではと判断します。晩年に明るく暮らせるかは、太陽線が深く長く上の方で三本に分かれており、（人相も合わせてみると良い）水星宮が張つて人

と人との繋がりが上手なので、認知症にもならないでしょう。

質疑応答

一 左手の月丘の外側から中央に向かつての二本の横線はどう判断するのでしょうか

精神界、霊界、宗教や信仰心の表れ又能力、想像力など心の問題がでるところで精神的な問題を抱えるとか、変化を期待したり、左手は表面に出さない心の問題であります。月丘はあまり横線が出ないので、出ているのは意味があり、ある時期に心の病をしたかどうかコピーでは解りませんが色の具合をみて現在か過去かを捉えることです。

その他の質疑応答

質問一 手の皮膚が荒れているのは何故なのでしょう

春先は荒れることが多いです。化粧品、シャンプー、洗剤などでも荒れます。木星丘、太陽丘、水星丘が荒れたり水泡がきたり皮膚が崩れたりします。又社会生活に不満がありますと疲れから生命線、頭脳線の部分に出て肝臓や胆嚢の機能低下とみえます。

質問二 木星丘の星紋は心配ないのでしょうか

心配なく希望や学んだものを出していきたいという気持ちの現れです。

質問三 感情線が先端で三本に別れているのはどのような意味がありますか

人に好かれる線で好奇心があり愛情問題に過敏で年数を経て三本目が出た時は人気が出ます。線が上向きか下向きか真っ直ぐかで違ってきます。木星丘まで伸びていれば仕事をしたいとか、仕事を納得しているかどうかは線の太さと深さを見る。それぞれの先の状態で意味が違ってきます。右手の木星丘は人から見られたいと思う気持ちが大切です。

質問四 他の指は尖頭型なのですが、拇指だけが蛇の頭のように平たく丸く大きいのは、どう判断しますか

母腹と言つて、へら型や混合型に多いが拇指だけというのは珍しく意味があります。特殊な仕事、薬剤関係や指先を使う仕事の人で親との関係をどう見るか。東洋の理論を使うと、女性なら右は父

左を母とし比較してどちらにあるかを見る。本人が打ち込む事があり親子関係に深みがないのではとみえます。

質問五 方位を見るのに磁北が真北か、どちらが良いのでしょうか

磁北で見ます。これは家相も同じです。真北との違いはどのようなものかは、次の機会にお話しします。どの占法も本を読むだけでは解らない事が沢山あります。実践をして勉強して下さい。

福田先生の手相判断のご指導でした。

毎回の事ですが、先生の奥深いご指導に時間が足りなく残念に思いました。有り難うございました。感謝申し上げます。

半田 晴詠

銭湯で・・・

田中 寛子

一 一 案内

去る三月号の記事に、「父と良寛さん」を書かれた田中寛子さん一。遠い過去になっていく戦時中の思い出の銭湯です。新潟県の能生町は、

親不知に近い漁村で当時の人口は二万余。個人宅の内風呂より四軒の銭湯が賑わっていたようです。父と子の姿が目につかんで来ますが佐渡出身のや丸顔、目は細く受け口、毛髪が濃いなど、佐渡顔というのだそうです。当時三十六才頃、人情家の校長として慕われていたとのことでした。

(福田記)



銭湯で・・・

銭湯へは、六才位迄父に連れられて男湯に通っていた。三ツ年下の弟と一緒に

当時の銭湯は、いつも芋を洗うが如きに満員で荒らくれ男衆の喧嘩が絶えなかった。幼かった私は「お風呂」とは、そういうところだと思つていて週に一々二度の父との銭湯通いは待ち通しかった。

友達の多くの父親が戦

地に召されて不在であるのに、自分丈が何故か途方もなく優雅な時間をもらっているような贅沢な感触があった。

そんないつもの入浴中に警戒警報のサイレンが鳴りだした。番台のオバさんが何やら大声で叫び湯舟の中の男衆が一斉にザバツと湯しぶきを上げて立ち上がったからたまらない。その時まで湯舟からこぼれたいた湯がアツという間にカラツポになった。

しかも男達はスツポンポンのまま脱衣所の棚から衣類を引きずりおろしたかと思うとそれを抱えながら脱兔の如くお尻を向けて走り去って行くではないか……

茫然と立ちすくむ裸の私と弟に父は、湯舟の底に残った湯を桶ですくって肩からかけてくれながら『あわてんでええ』。洗い場には、まだ数人のお年寄りが洗っているのに気付いたが彼等も悠然と体を洗ってる。

コレはどういう事なんだろうか？・・・不思議な光景だった。

湯殿が静粛になったと同時に急に膨大な空間が

現れたような奇妙な幻想の中に居る感覚があった。天井を見上げると高い欄干から白い湯気がしっかりと抜けていくのが見えた。

怯えて言葉のない私と弟を、父はいつものように両の腕に抱き寄せ蛇口から湯を注ぎながら『ひーふウーみイーよオ』の恒例になってきている勘定を促した。

物心付く頃からは、戦争と空襲、警戒や爆弾、防火に暗幕等々が日常語として体に染み付いていたせいでこの期に及んでの父の体制に疑問を抱きつつも朗々とした、数え唄に同調した。

逃げ遅れたお年寄り私達父子は、脱衣所でも一緒になった。『アンちゃん、兵隊に行かんでええ内に、戦争が終わってくれりゃええけんどなあ』とその中の一人が弟坊主頭を撫でた。

どつぷりと陽が落ちて、出口の薄暗い電気がついた。

さつきからじつと眼を凝らして下駄箱で自分の下駄を捜している父に、番台のオバさんが点けて

くれたもののようだった。買ったばかりの履物は、スグに。盗まれる時代だった。

素足で歩きだした父親に、途中で弟が自分の片方の下駄を差し出して『半分貸すよ』。父は『そうか。助かるなあ』とチビた弟の下駄を素直に受け取って履いた。

親指と人差し指しか乗らない小さな下駄を父はつま先立ちしながら踊るようにして歩き始めた。

弟も砂利道で痛かろう素足の片足でステップを踏んだ。私はその二人の後を黙って追った。

田中 寛子

能生西部サイの神の

お松集め



昭和三十四年当時

上野の夜桜

岩崎 紀子

一こ紹介

桜の花は華があり、夜桜には妖艶さが漂うものです。里桜、山桜と数えてみると三〇〇種以上があるとのこと。

鎌倉初期、若くして出家した西行は各地を行脚桜の和歌は二〇〇首以上、奈良の吉野の山に庵を結ぶ。平清盛の時代です。

続古今和歌集の一首

『ねがはくは、はなのもとなにて、春しなむ。そのきさらぎの、望月のころ』

日本は花見文化といわれ、美しさを讃えたり浮かれたり、桜の芯にある霊性が観る人の心に響く妖しさがあるようです。

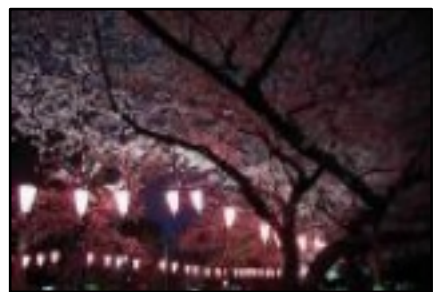
上野公園の染井吉野の観桜に触れての記事を土曜会の岩崎さんが書いて下さいました。

素直で飾らない筆致は、上野桜の情景をそのまま写し出しています。修飾しない文章と同じような人柄で、占法取得を急がず腰をおとした態度の勉強ですが、一筋に精進していく道は尊いものです。

西行庵の茅屋を思い出しながらの一筆です。

(福田記)

上野の夜桜



少し前のことになりましたが、平成二十二年四月三日(土)、綾瀬教室の土曜会(師範科)終了後

福田先生を含め教室の方々十名で、上野へお花見に出かけました。曇り空で少し寒い日でしたが、この週末はちょうど桜の見ごろで、そろつてのお花見です。

午後五時に教室を終え、上野に着いたのは六時を過ぎていたでしょうか。

天気予報では雨は降らないと言っていましたが、駅に着いた頃には雨が降り出しました。風も少しあったように思います。最近では、天気予報が外れて雨が降る、ということ

が度々有るようになってしまいが……。

この日は、癸未八白土星の日で、四月の節入りの前日でした。月並みな解釈ですが、八白は変わりやすい天候、雲、また節入りという季節の変わり目でもあるので、天候に変化がある日なのかなと思えました。

最近では、温暖化の影響により、世界中で気候に変化が起きているようですが、特に今年は八白土星の年なので、気候の変化が顕著になるのかなとも思いました。

雨は少し降っていたものの、『行ってみましようか』と、皆さんで上野公園の桜並木に向かつて歩き出しました。

あたりはすっかり日が暮れて、夜桜の下での宴会がとて盛り上がりつつありました。

歩いている途中で一本の桜の原木がありました。ちようど十人がすつぱり収まるスペースがあったので、そこでお花見をすることにしました。福田先生からの差し入れの日本酒で乾杯です。この日本酒が甘口でとても飲みやすく『美味しい』と皆

さんで盛り上がりました。輪になってお酒を飲みながら、ある方のお話になりました。その方は、本日のお花見に参加された方のご友人ですが、本日お亡くなりになったそうで、お歳は六十才であつたとのことでした。

先生はお話をしながら、辺りを見回しておられましたが、『その方のお顔は平面で、少し顎が出ています。』と言われま

した。実際に、そのようなお顔立ちの方だったと、皆でびっくりしました。先生はさらに、桜の木の枝の一方所を指差して、『あの辺りに亡くなったご友人が来ています』と教えてくれました。

先生が指差された桜の木を見ると、桜の花枝が大きな横顔になって浮かび上がりました。いいきさは人の背丈ぐらいある横顔です。お顔の様子は全体に三角形で、おでこが広く、顎が少し出ているように見えました。先生も、桜の花で面相（画像）を作つて人に伝えたのは初めてのことだそうです。

先生によると、『亡くなった方は、その方を思っている人のところへ来ま

す』ということ、ご友人は桜に来ていたのでした。このような時には、亡くなった方を偲ぶことが大切だそうで、亡くなったご友人のご冥福をお祈りしました。この頃には、降つていた雨はやんでいました。『雨』は、天と地を繋ぐものでもあるという事でした。

また先生は、その方には親しいご友人が四名おられるのではないかと、言われましたが、それは、私達のすぐ隣に男女二名づつの四人グループが宴会をしていたことから、そうです。帰り際には、先生による四人グループの鑑定会になり、とても盛り上がりました。

お花見は楽しく盛り上がり、私もいろいろなお話を聞いてよかつたな、思いながら帰路に着きました。皆様どうも有難うございました。

岩崎 紀子

元三太子堂おみくじ

八川 林加

紹介

「おみくじ」といえば、子供の頃から馴染み、四角の箱を振れば何かが出

てくるような期待が高いもので、どこの神社仏閣でもたいていおみくじ箱があり、老若男女の感心は高い。吉も凶も境内の木枝に結んでくるなど、今も昔も変わりない習俗ですが、吉凶判断をするのであれば占いの種類になるのかもしれない。

日本では、比叡山・天台宗の元三大師（慈恵大師）の作で、元三大師百籤が原典です。浅草寺さんには観音籤の名前で親しまれていますが、凶のとき二回目を引いても凶が出るなど同じ結果が続くもの。不思議です。

横川大師堂ではおみくじを頂くと、昔は観音経三巻、ご真言を千返、礼拝を三十三返し、そして願文を唱えてから箱を振るようにと伝えられています。まさしく心願成就のために、おみくじと対決することになるでしょう。それですら相談者は容易におみくじを頂けないため苦労をします。

八川さんはおみくじのことでは長足の進歩を遂げ、見事な読みをするようになり感心しています。おみくじの文面に書いて

いない内容を探り出す技術に磨きをかけ、一流の作家に成長してほしいと願うものです。

(福田記)

元三太子堂おみくじ

終わりなき旅のはじまり

比叡山横川の元三大師堂にて

西方位の祐気取りとして京都方面を訪れた、平成二十二年五月九日の事です。最大の目的は、おみくじの元祖として名高い比叡山横川の四季講堂（以下、通称・元三大師堂）を訪れる事でした。

この日、人生を賭する究極のおみくじを経験しました。第十八世天台座主・慈恵大師は、元三大師または角大師、或いは如意輪観世音菩薩の化身と伝えられ、おみくじの創始者としても高名なお方です。

おみくじについて勉強する機会を下さつたのは、四十年以上に渡りおみくじによる運勢判断の研究を続けておられる福田有宵先生です。以前、先生から、「もし機会があれば、比叡山の横川でおみくじを頂いてきなさい。日本のおみくじの元祖だ

から必ずよい勉強になる。けれども、そう易々とはいって頂けない所だから心して行くように。」大概のおみくじは、気軽にくじ箱を振り、出た番号の札を頂くスタイルですが、元三大師堂のそれは全く違うものだったので。

お堂の受付には、おみくじに関する説明書きがありました。そこには、通常のおみくじとは違い今後の運勢など漠然とした内容は取り扱わない事、人生の決断、生死を分かつ内容のみ相談に應ずる事が記されていました。

臆せず門番の方に申し出ると、注意書きを読んだ上での相談かを問われました。内心「きたか」と思いながら、おみくじでご教示頂きたい内容を申し上げました。門番の方は洪い表情をしましたが、おみくじの受付用紙を差し出され、「住職が来ますので直接相談して下さい。」と障子で仕切られた内陣前で待つよう案内されました。しかし、ご住職は一向にお見えにならなかつた為、不安を払拭するべく、「おみくじを頂けるか」について卦を

出しました。得卦 天沢履の九四背筋に緊張を覚えました。が、真剣にお話をすれば通じる筈と信じて待ちました。暫くしてからご住職がお見えになり、おみくじの相談が始まりました。そこで、現在運命学を学んでいる事、将来は勤め人から運命学を専門に研究する職に進む希望がある旨を申し上げました。しかし、一方で、勤め人であるが故の時間的な制約を克服できず、一口として必要な複数の占法を会得出来ずにいる事、特別な才能はなく独学に近い状態もあり、将来の見通しを立てられないでいる事をご相談しました。

すると、ご住職は優しい眼差しで、「私の知り合いに、素人ながら手相だけを得意としている方がいます。その人は普通の勤め人ですが、自発的に何百、何千の手を見ていく内にプロが目置程度の實力を持っています。評価されています。貴方はいかがですか。」予想外のご指摘に絶句していると、更にご住職のお話は続ききました。「此処（比叡山）で修業

している僧侶はどのよう
な人が集まっていると思
いますか。貴方は神秘的
な能力が備わっているか
ら運命学の道に進んだの
でしょう。しかし、私
(ご住職)を含め此処に
は特別な能力を誇る者は
おりません。しかし、お
大師様の教えを後世に伝
えたいという強い意志が
あるからこそ、毎日修業
を続けていられるのです。
そして、もう後戻りはで
きません。貴方がこの道
を進むと決めたなら、世
間の許可を求める必要は
ありません。年齢が若い
から、或いは占法の多い
少ないという点は全く関
係ないので。貴方は自
分の才能がない事を苦し
ておられる様ですが、
本当はその道で食べて行
けなかつた時、退路がな
い事に恐怖しているのだ
はないですか。違います
か。そつたとすれば、いっ
そ直ぐにでも退路を断つ
てしまえばいい。勤めが
なくなれば後がない訳で
すから死に物狂いで運命
学の勉強をするでしょう。
おみくじを取るまでもあ
りません。どのような事
も言えますが、道を究め
る為には、長い年月をか

けたとしてもやり続けな
ければなりません。時に
は経済的、精神的、体力
的と様々な苦労がつきも
のですが、自らが強い信
念を持ち続けなければ、
その道で生き残る事はで
きませんよ。」
ご住職はお帰りの支度を
始めていました。暫く茫
然としていたものの、ど
うしても諦められません。
そこで、元三大師堂でお
みくじを頂く事は目標の
一つであった事、今日を
迎える為に般若心経、観
音経第二十五偈を暗唱で
きるよう準備してきた事
を申し上げ、恥を承知で
お願いを続けました。
「お気持ちばかりまし
た。しかし、当山のおみ
くじは究極の決断が必要
な時のみと決められてい
ます。では、貴方の独立
する時期を二年後とし、
もし凶が出たらプロの道
を諦めるという決意でい
るのならお引き受けしま
しょう。」
お大師様を象徴する大き
な鏡の前で荘厳な儀式が
始まりました。長い御祈
禱の後、気合と共にくじ
棒が引き出されました。
「このくじ札の結果を私
に説明して下さい。」

ご住職から裏向きでくじ
札を手渡されました。

**第十五番 凶
年 乖数亦孤**

久 病未能蘇

岸 危舟未發

龍 臥失明珠



第一句目では、坎宮同
会の本年から十年の歲月
が必要と判断しました。
また、おみくじの絵柄と
第二句目には、未だ誰か
の助けを必要とする弱い
自分が示されていました。
第三句にしても、先が危
ういのですから、二年後
の独立などあり得ません。
最後の第四句目では、臥
薪嘗胆が示され、辛くて
も勤めを続けなければな
らない等々、覚えたての
解釈でご説明しました。
しかし、ご住職とのお
約束です。お大師様のお

示しに、もはや悔いはな
いと申し上げました。

「まあ、待ちなさい。こ
のおみくじは確かに凶で
すが、陰陽師を目指す方
には悪い結果ではありません。
第四句の所、つま
り数え年四十六才でチャ
ンスがあるでしょう。私
(ご住職)の判断が合っ
ているかは、今後ご自分
で確かめて下さい。」
ご住職は、始めから「頑
張れ」と背中を押して下
さっていました。その寛
大なお心に触れ、暫く涙
が止まりませんでした。

謹啓 ご住職様 終わりの
ない旅が始まりました。
この場をお借りして深く
御礼申し上げます。

八川 林加
謹白



第十一回

**松戸クローバー
サークル研修旅行**

石井 アヤ子

一 ご紹介 一
研修旅行会は、その土
地の歴史を尋ねて見聞を
広めます。社寺において
敬虔なる参拝、吉方祐氣
取りの方法を学びながら
参加者の交流と親睦を兼
ねて毎年続いています。
石井アヤ子さんは毎年
参加の常連さん、教室で
はいつもニコニコと笑顔
が魅力の方です。家族運
に役立ちように気学を活
かしているようですが、
転ばぬ先の杖となってい
ることでしょう。(福田記)

**第十一回松戸クロー
バーサークル研修旅行**

今回の研修旅行は、東
方位の銚子、犬吠崎方面
へ一泊二日の旅となりま
した。

五月晴れに恵まれた、
五月十八日(火)戌辰八
中福田先生を先頭に三十
五名の方が参加され、幹
事の金子さん、太田さん
の細やかな心配りを乗せ
てバスは松戸を出発致し
ました。

和氣藹藹のうちにバス
も順調に走り続けて最初
に訪れたのは、香取市内
の『伊能忠敬記念館』で
す。忠敬は五十才を過ぎ
てから、日本全国を測量
して歩き、わが国最初の
実測日本地図をつくりあ
げた人物で、地図を完成
させるまでの工程が展示
されていました。

見学後、昔の街並みが
残る小野川沿いの料亭
『千よ福』で美味しい昼
食をいただき、次に龍福
寺の『岩井滝不動』を参
拝致しました。境内を一
巡し帰りがけに龍の形を
した雲が出ていますよ、
という声で空を見上げる
となるほど龍の形をした
雲が棚引いていて、とて
も不思議な気持ちになり
ました。

その次に、猿田神社に
正式参拝し、全員ご祈禱
を受けました。

猿田神社は膨大な敷地
の中に、猿田彦大神をは
じめ数々の神様を崇め奉
り、古来より武将や一般
庶民の信仰も厚く全国各
地から沢山の方々が参拝
に訪れております。

厳かに進行する儀式の
中、神秘的な面持ちで頭を
垂れ、ひたすらお祈りを

いたしました。御神酒、御神札、御神砂、御守、御水をいただき、本当にありがたく感謝の気持ちで胸が熱くなりました。

二黒申年生まれの私は、年明け早々から、親戚の手伝いや相談事が重なり疲れていました。福田先生に主人の体調のことを相談致しましたら、心配ないというアドバイスをいただきとても心強い特效薬となりました。

お宿の犬吠崎きょうけい館は、ミネラル豊富な温泉で、部屋からは海が一望でき、とても清々しい気持ちになりました。

宴会では、芸達者な皆さんが沢山いて大いに笑いに楽しませていただきました。

翌日はヤマサ醤油工場を見学したあと、妙福寺を参拝致しました。妙福寺は日蓮宗のお寺で『銚子の妙見様』として人々に親しまれております。

また境内には『臥龍の藤』と言われて樹齢七〇年の大藤棚があります。残念ながら藤の花は盛りを過ぎていました。

次に飯沼山圓福寺を参拝致しました。圓福寺縁

起によりますと、利根川河口から拾い上げられた十一面観音像を奉安し、古くから飯沼の『観音様』として親しまれ、鎌倉時代のはじめ坂東観音霊場第二十七番札所に選定され、全国各地から全国の方々が訪れるようになりました。



『岳易館の徽章』

去る四月二十日(日)岳易館・有宵会はNPO法人の祝賀会を、日比谷松本楼で行いました。その節は多数の方のご出席とご支援を頂き誠に有難うございました。

今後のために会の徽章を作成し、易の意義をデザインで表すことが出来れば、記念になるからとのご意見があり、着手をした次第でした。



福田 有宵

それから何回となく図案を見ながら鳩首、だんだんと図柄が決まり、全体像が描出してきたことをお話ししたいと思います。

徽章は実寸で14ミリ位です。その中央部の太極に易という文字を陽

刻しまして、見事に刻まれているのがわかります。本会の指針となる書は『易経』で、易の字を冠した次第です。易の字を小さな正円で囲み秘扉とします。次に八卦とし八識の意を表わしますが、ときには八葉の蓮華座のようにと想いがします。

れます。香りの正体のひとつが『青葉アルコール』です。木の葉やハーブオイルに含まれるもので、香水などの原料として工業生産もされています。

新潟市の東方にある福島潟という湖沼の草いきれは、環境省が選んだ『かおり風景百選』の一つです。面積の六割を水辺の植物に覆われた県内最大の潟湖には、様々な草が生育しています。

草いきれは、真夏のみなぎる生命力を表す季語として、俳人たちに愛されています。

美しい日本の季語より



草いきれ

夏の暑い日、草が生い茂った草むらや山に足を踏み入れると、むせかえるような草の香りとともにむっと熱気を感じるころがあります。これが『草いきれ』です。風の通らない深い草むらでは、特に強く感じら

事務局だより

次回の例会

九月二十五日(土) 午後一時十五分より

足立区こども家庭支援センターにて開催

例会後『懇親会』予定

福田理事長講演

私の『手相実技鑑定法』

モデル参加の鑑定

有宵会 研修旅行

平成二十二年十一月

九日(火)十日(水)

行先 西北方位で検討費用 三万五千元

詳細は後日連絡します。

NPO法人のバッチが出来ました。ご希望の方は事務局へお申込み下さい。金額五千円です。

五月の例会には六十三名の方が参加されました。

今年の夏はひときわ敵しい暑さです。会員の皆様には健康に留意されてお元氣にお過ごしください。

伊藤 璃香

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。皆様方からのご意見をお待ちしております。

佐藤宗眩

